

三床山山行報告

【山行日】2020年4月11(土) 快晴

【集 合】岩舟支所P AM 8:00

【費 用】マイカー1台 : 400円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、島田、
関、福島

【コースタイム】岩舟支所 P8:00=鹿嶋神社

P8:35/8:45~三床山 9:30/9:40~小三床山

10:00~つつじ山 10:20/10:30~桜山 10:50~

一床山 11:50/12:30~二床山 12:45~高松

13:00~鹿嶋神社P13:20/13:30~あわしま堂 13:45/14:00=岩舟支所 P14:30

箱根の明神ヶ岳&金時山宿泊山行がコロナウイルス感染の影響で中止になり、「何処か日帰り山行を計画して」との要望があり三床山周遊コースを計画した。岩舟支所を8:00に出発し、道の駅



「どまんなかたぬま」でトイレを済ませ鹿嶋神社駐車場に着く。出発の準備を整え、ストレッチを行ったら鹿嶋神社を参拝し山行の無事をお願いする。神社左側の林道を北に向かって進み、沢コースを左に分けて進むと出尾根コース入口に着き、左の登山道へ入る。しばらくは展望のない樹林の中を登り、一旦鞍部に下ると三床山への急登が始まる。ゆっくりしたペースで登り、岩交じりの急坂を登ると二床山への分岐に着き、直進すると三等三角点のある

三床山山頂に着く。山頂には3つの石祠があり、展望を楽しみながらトマトをいただく。ここから分岐まで戻り、右にザレた急降下の登山道を下って行く。下り切った所が沢コースとの合流点で、直進してアップダウンのある尾根を越えて行く。南側の斜面にはヤマツツジの花が沢山見られ、芽吹き

の緑に映えてとても美しい。310mピークから金原山への分岐となり、標識に従って右に下って行く。鞍部に下って登り返したピークが小三床山で、ここを下ると栗谷坂峠に出て杉林の中を登り返すと烏ヶ岳山頂に着く。ここからは自然林の尾根歩きとなり、この時季にしか見られない芽吹きの新緑の景色が広がる。まさに『山笑う』という表現がピッタリの景色で、皆さんも新緑の海に酔いしれて歩いていた。「いいね〜」「いいね〜」の連発で歩いていると、次のピークのつつじ山に着いた。名前の通りつつじが多い山だが、アカヤシオの花は終わっており赤いヤマツツジが出迎えてくれる。



つつじ山から西側の尾根を下って行くが、ここから桜山までの道がヤマツツジの花が沢山見られる。赤いヤマツツジの花に励まされ、急坂を登り切ると大きな祠が立つ桜山山頂に着く。ここは分岐に



なっており、右は大姫山から金原山方面へ行き、左に進むと一床山へ向かう。小休止しリンゴや菓子を食べて、エネルギーを補給し体を休める。ここからは南西の明るい尾根を下って行き、小ピークの先から左に下ると林道に出る。林道を右に進むと直ぐに標識があり、標識に従って沢を渡る。さらにもう一本沢を渡り、林道に出ると山菜取りのファミリーと出会った。歩きながら一言二言言葉を交わし、左の登山道へ入って一床山に向かう。林道の標高は150m

まで下って来たので、ここから170m登り返すので結構きつい。途中、1回水飲み休憩が入ったが、皆さん頑張って登り一床山山頂に着く。山頂では先客が2組ランチ休憩していたが、我々もここでランチタイムにして、焼きそばを作る。山頂からの眺望は素晴らしく、登ってきた山々や日光連山が見え、これから登る二床山や高松がすぐそこに見える。展望を楽しみながらのランチはとても美味しく、今回の焼きそばは格別に美味しく感じた。食べている間にも次々とグループが到着し、食べ終わったら後片付けをして場所を譲る。東に下ってから二床



山へ登り返し、すぐ先の分岐を南に下って高松に向かう。高松への尾根は露岩に松が多く、明るくて見晴らしがとても良い。高松ははっきりしたピークが無く何処が山頂か解らないが、立派な標識があるのでここが山頂と解った。露岩の明るい尾根を下って行き、途中から展望のない樹林帯の道を下り、小沢を渡って平坦な道を進むと一床山からの道に出る。左に進み太陽光発電の間を通ると、まもなく鹿嶋神社の駐車場に着く。駐車場には車が沢山止まっており、この時季は人気の山なのだなと思った。靴を履き替えたなら車に乗り、皆さんが楽



しみにしているあわしま堂に向かった。あわしま堂もコロナウイルスの影響で、試食と無料のコーヒー、お茶のサービスは中止していた。綺麗なトイレを使用させてもらい、格安の菓子を沢山買って岩舟支所に予定より早く帰着した。